



1201100593949



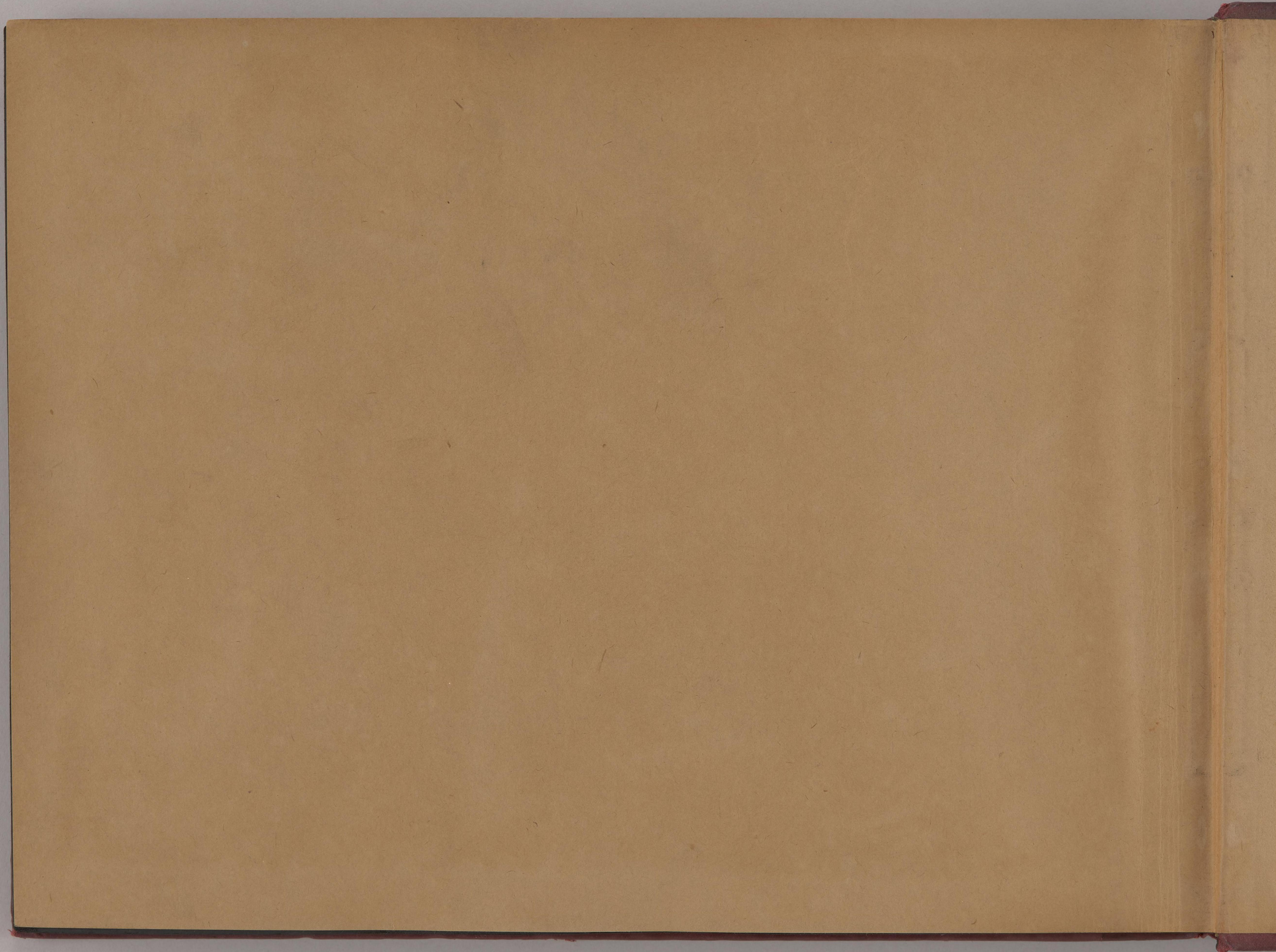
52



禁電子式複写









新聞聯合

寫真二五ノ久

昭和七年十二月



聯合（新京寫眞部發行）

飛行便

十二月一日

（チチハル）武井特派員撮影　チチハルに於ける第〇師團黑龍江省戦没將士百八十四名の慰靈祭はチチハル東本願寺に於て盛大に舉行せられた

寫眞はその會場



聯合 寫眞 第二號 七年十二月一日

○けふ帝都の防火デー

第二回防火デーは今十二月一日警視廳管下で種々の催しの下に盛大に行はれた。この日警視廳消防部では管下各消防署と協力東京市内を十二方面に分けそれぞれ消防自動車行進、模擬火災演習を行ひ早川消防部長は午前十時早くも丸の内、日本橋、神田、京橋の第一方面から消防自動車その他の威力振りを實地に視察した

寫眞は

一丸ビルの救助作業實演



聯合 寫眞 第一號 十二月二日

◎士官學校皇族舎に於ける

一 お日出度き日の澄宮様

滿十七年のお日出度き御誕辰の日を迎へさせられた澄宮崇仁親王殿下には陸軍士官學校皇族舎にて御平常通り御起床、課程に就かせられたが正午の御休憩時、特に新聞聯合社のために御撮影を差許されキヤメラの前に立たせられた

寫眞は

一 お欣びの日の澄宮様

一 特に新聞聯合社にのみ御撮影御許可



聯合 寫眞 第二號 七年十二月二日

◎ 鳩山文相小學校視察

小學校長奏任待選、全國師範學校長會議また
第一回全國小學校長會議など初等教育の改善
に大童となつてゐる鳩山文相は、こんどは實
際の教育を見學するといふ意味から二日東京
府立女子師範學校及び同附屬小學校の授業を
參觀した、これは文部大臣として初めての授
業參觀である

寫眞は

一 女子師範參觀の文相



聯合 寫眞 第一號 七年十二月三日

◎外國武官荒木陸相招待

！帝國ホテルにて午餐會

先頃の大坂地方に於ける大演習を 觀した各
國大使館付武官は聯合して三日午后零時半か
ら帝國ホテルに荒木陸相を招待し感謝の午餐
會を開き懇談を交へた

寫眞は

一、乾杯の陸相（向つて右）



聯合 寫眞 第二號 七年十二月三日

◎皇后宮より御下賜金

東京府知事へ傳達

畏くも皇后陛下には押迫る歳末に帝都極貧病者救濟事業の補助費として御内幣金御下賜の御沙汰あり三日午前十一時一木宮相は香坂東京府知事を宮内省に招き思召竝に御下賜金一萬圓を傳達した

寫眞は

一、退下の香坂府知事



聯合 寫眞 第一一二號 七年十二月四日

◎世界の松岡代表も

「子等にはよきパパ」

世界の松岡としてジュネーヴに寧日なく大活躍を演じ、それこそ文字通り世界の衆目を擔ふてゐる松岡代表も、國を想ふ堅き信念の外には唯だ故國に残した可愛の子等に走る想ひは更に新たなものがあると見えて、寸暇を費しては便りを忘れない。よきパパ松岡の面目躍如たるこの便り

寫眞は

「ロシヤよりの松岡代表の葉書」



ロシアよりの松岡代表の葉書

三日月の星を
この世に
の光を
十

東京市世田谷区代々木
初台町六〇二
松岡洋二君
康之君
志郎君

ЛЕНИН 4-х лет
(14510) Союзфото)

Цена 30 коп

ПОЧТОВАЯ
КАРТОЧКА
ПОСТА КАРТО
ПОЧТА-СССР
15 КОП

Yoji Matsumoto

Tokyo

Japan

Shinshu Bungei

聯合

新京寫眞部

武井特派員撮影

十二月五日

一、興安嶺下風を冒して駱駝の蒙古騎兵隊堂々進軍

二、興安嶺下風を物ともせず威風堂々進軍する高波挺進騎兵隊一決死隊一

『飛行便』

一契約社へは別種發送致しました。至急御申込願ひます一



聯合 寫眞 第二號 七年十二月五日

◎閑院參謀總長宮工業圖書館へ

參謀總長閑院元帥宮殿下には若宮妃直子殿下御同伴、泉名御附武官、吉田御用取扱を隨へさせられ五日午前十一時麴町永田町の宮邸御出門、芝區白金の藤山工業圖書館に成らせられわが國工業發展の歴史を物語る文獻その他參考品等を御視察同館に於て御晝餐を召されなほ邸内に軍艦三笠を記念して設けた三笠亭に御立寄り午後一時半同所御發御機嫌麗はしく御歸還あらせられた

寫眞は

同圖書館御見學の閑院總長宮殿下と若宮妃殿下御案内は藤山雷太氏



聯合 寫眞 第一號

十二月六日

◎我に不動の方針あり

「愈々聯盟總會開かる」

我が國民がその成果を待つ聯盟總會は愈々パ
「チマン・エレクトラール」選舉會館」に於
いて開われた。從來使用された「硝子の問」
は狭少な爲め此處に移された譯であるが、イ
「スマン」氏を議長とし、五十餘國代表を相手
に活躍する松岡全權始め我が代表が世界を驚
撼さすシーンが此處で演ぜられる
寫眞は

「聯盟總會議場（選舉會館）」



聯合 寫眞 第二號 七年十二月六日

◎北滿の野に屍を晒した

ト休、齋藤兩少佐等の遺骨歸る

チチハル、兎山方面に於て名譽の戦死を遂げた林、齋藤兩少佐を始め宇都宮部隊百四十六名、智志野部隊十八名の遺骨は戦友に護られ六日午前五時五分東京驛着で悲しき凱旋をなした、驛頭には陸軍省、参謀本部、東京警備司令部代表、内山大將その他多数の出迎があつた

寫眞は

一、東京へ悲しき凱旋



聯合 寫眞 第一號 七年十二月七日

◎早蕨覆沈調査委員急行

驅逐艦早蕨覆沈原因について帝國海軍將來の
のためにも重大なる問題として海軍當局はこ
れが調査委員會を組織、急速に真相探に取
かゝる事となり七日午前委員長海軍省教育局
長海軍少將後藤章氏以下の任命を見たが委員
長を除く委員五氏は七日午後八時二十五分東
京驛發函下し吳より驅逐艦に乗艦馬公に急行
することゝなつた

寫眞は

一、早蕨調査委員長後藤章少將（於海軍省）



St. Andrew Perry

聯合 寫眞 第二號 七年十二月七日

◎駒井滿洲野嬢

―舞踊界にデヴュー―

前滿洲國總務長官駒井徳三氏を父として健氣にもその銃後を護る滿洲野（二三）さん、明大女子部法科卒業後、自ら舞踊に精進してゐたが七日飛行館講堂で「駒井滿洲野舞踊の會」を催し花々しくデヴューした當日は令姉令妹も琴の伴奏に出演した

寫眞は

―踊る滿洲野さん



聯合

新京寫真部

七年十二月八日

武井特派員撮影

◎高波○團○聯隊興安嶺下風を衝いて
堂々進軍、先頭は河野○○聯隊長



Shinbun Range
8

◎菅公の銅像

十一年目に竣成

彫刻家朝倉文夫氏の令兄渡邊長男氏は先頃菅公の大銅像を獨力で完成、來春三月十七日から上野で開かれる婦人子供博覽會竹の臺教育參考館前に建立し會期終了後多摩御陵附近の淨域を選んで永久に安置することになった銅像は高さ一丈六尺、重量一千六百貫、關東では最大のもので同氏は一萬圓以上の私費を投じ昭和五年秋教育勅語頒發四十年記念日より起工したものである

寫眞は

一、菅公の銅像



聯合 海外寫眞ニユース

十二月 九日

◎休戦十四周年祭

パツ發聯合 フランスがその國運を賭して戦つた歐洲大戰がその休戦を宣して今年で十四年目だ、當時の悲惨な戦禍を忘れかけて居る國民に對し 佛國陸軍では今年は特に大規模な大行軍を市中の目抜き町の行ひ凱旋門前廣場に於てゴッロー將軍閱兵のもとに盛大なピツグ・パレードを行つた
寫眞は

凱旋門通りの大行進



聯合 寫眞 第二號 七年十二月九日

◎鍋島侯母堂喜壽の祝ひ

「昨夜盛大に」

鍋島侯爵母堂榮子刀自の喜壽の祝ひは八日午後五時半から丸之内東京會館で徳川家達公、清浦奎吾伯始め下田歌子、本野久子の諸女史及び各婦人團體の會員百五十餘名が出席して盛大に行はれた、家達公等の祝辭について記念品贈呈餘興の長唄鶴龜を終つて賑やかな晩餐會が催された

寫眞中央鍋島侯母堂



聯合 寫眞 第二號 十二月十日

◎内運隆盛祈願に

！千手觀音を建立！

國運の隆盛を祈るために本郷の大圓寺發願小笠原長生子寄進の下に白木彫り約一丈の千手觀音菩薩を豫ねて高村光雲、三木宗策兩氏に依つて製作中であつたがこの程完成したので十日三木氏宅に關係者集り下見した昭和八年四月頃大圓寺に奉安する由である

寫眞は

一完成した千手觀音（向つて右から）小笠原子今嬢廣子、小笠原子、大圓寺住職、高村光雲、三木宗策の諸氏）



聯合 寫眞 第三號 七年十二月十日

◎野球日米戦!

―大使館側大勝

風雲デユネーヴに急を告げて外務省では上下を擧げて非常時風景の中に絲忙を極めてゐる時、寺島條約局第二課長、三浦アジア局第二課長が矢面に立つて米大使館に挑戦、茲に日米開戦の火蓋が切られた、時は十日午後一時半、場所は青山學院グラウンド―但し英雄閑日月ありと云ふ所でナンセンスな野戦戦なのである、決してこれはお世辭でなく十二對四で米大使館の大勝に歸した

寫眞は

一、ネヴィル參事官のバッティング、捕手は

矢野情報部員



聯合 寫眞 第一號 七年十二月十一日

◎馮司法總長歸國

我國司法諸制度視察のため來朝中の滿洲國司法總長馮涵清氏は判檢事招聘の件も解決したので十一日午前九時東京驛發燕號で退京歸國の途についたが驛には本庄中將、山岡萬之助氏、鮑滿洲國代表その他約五十名が見送つた馮總長一行は十一日は名古屋に下車一泊の上歸國する豫定である

寫眞は 東京驛にて

向つて左、見送りの本庄中將、右馮總長



Chinbus Rengo
陸軍省

聯合 寫眞 第二號 十二月十一日

◎ 十大發明家天機奉伺

昭和五年十二月十一日陛下の特別なる御恩召により宮中に賜餐の榮に浴した十大發明家（田熊、密田、島津、山本、御木本、杉本、本田、丹羽、堀崎、鈴木）の十氏は十一日が丁度滿二ヶ年に相當するので午前十一時より天機を奉伺し更に工業俱樂部に會合して聖慮に添ひ奉るべき記念事業相談のため會合する事になつた

寫眞工業クラブにて

同つて前列左より松本、御木本、鈴木、密田、田熊、後列左より山本、丹羽、島津の諸氏



聯合 スチツチ烏眞 十二月十二日

◎ 踊れ！Xマス・ボール

不景氣ブツ飛ばせの掛け聲が、どう反響を與へるか！已にXマス氣分を存分に醸はせて、カフエーはマスクと共にチヤズる、ダンスホールは云ふまでもなく、チヤチな研究所ですら假藝舞踊會の計畫でマスクが飛ぶ様に賣れてゆく。

烏眞は

一、マスク。オンパレード（銀座松屋にて）



聯合 寫眞 第一號 七年十二月十二日

◎日本學生聯盟の決議

一 滿洲代表を大使とせよ

日本各大學生聯合會は十一日夜一ツ橋帝國教育會館に會合、駐日滿洲國代表公署を速かに大使館となすこと、及び鮑代表を初代大使に任命されたき事の二項を決議し、滿洲國要人に打電したが十二日午後三時代表委員十餘名は萬平ホテルに鮑代表を訪問、右決議を手交した

寫眞は

一 決議文を讀む學生代表



聯合 海外寫眞 ニュース 十二月十三日

◎物質文明の豪華を盛つて

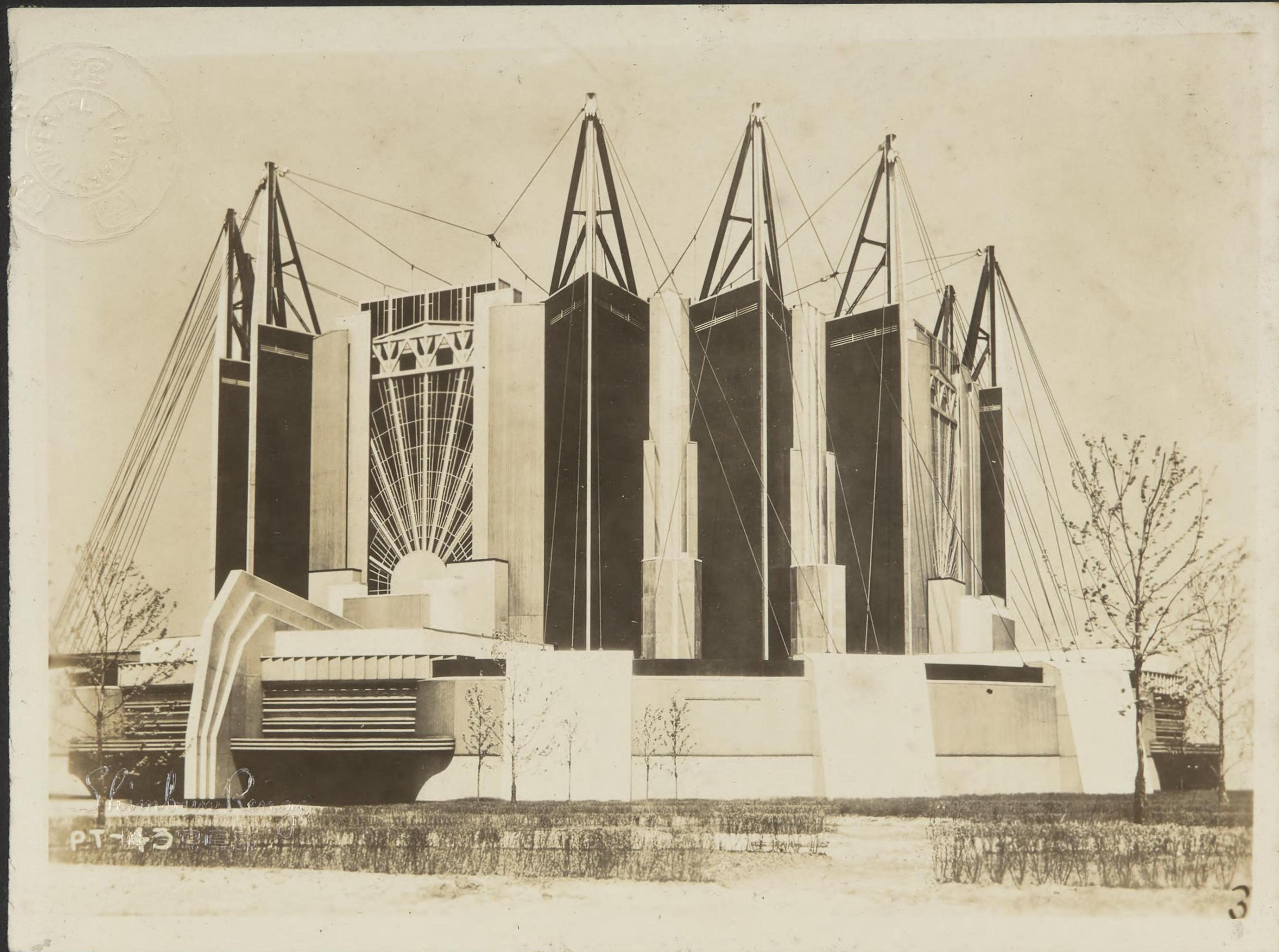
シカゴ世界大博覽會準備進む

(シカゴ) 本社特派員撮影

米國が其有する黄金と文化の力、これに加ふるに世界に呼びかけ得るに充分なる偉力を以て來年(一九三三年)シカゴに於て開催される世界大博覽會は其の後着々工事進捗して殆んど外觀の竣成る見るに至つた。其の豪壯なる規模と暫新なる構へはさすが米國が世界に誇るに足ると自負するものだけあつて物凄いものがある

寫眞は

一過去一世紀に於ける科學の進歩を示す
科學館



◎議員諸君！敗けるナ

― 守衛が柔術の猛練習

恒例日比谷座の開幕は迫つた、議場での野次
の應酬は兎も角、亂痴氣騒ぎでチャンバラの
肉弾戦は實に之れ大向を陰らせるところなん
であるが―議場の神聖を保持するために―今
や百數十名の守衛は柔術の猛稽古だ、劍道は
精神修養のため、柔道は取つて抑へるための
實用向―敗けるナ諸君

寫眞は

― 守衛の柔道稽古



◎四十年振りで

恩師と再會の眞崎將軍

東加大學のレイラー博士東洋に就いて研究論文作成のため目下來朝中であるが四十年前一牧師として渡日、佐賀中學で腕白連に英語を教へてゐたが教へ子の内のマサキの名を想出して讓古の情禁じ得ず十四日午後一時參謀本部で今は時めく次長、將軍マサキと四十年振りの^く対面をなし歡談之を久しうした
寫眞は

一、四十年振りで恩師と歡談の將軍マサキ



聯合 寫眞 第三號 七年十二月十四日

◎一代の風雲兒森氏の葬儀

一けふ青山齋場で執行

闕志空しく遂に湘南の客舎に逝つた前内閣書記官長政友會顧問森恪氏の葬儀は十四日午前八時から青山齋場に於て喪主新君の幼年學校の徽章が會葬者の眼に哀しみをさそつた。終極天人令息令嬢の焼香に次いで鈴木葬儀委員長島田副委員長婿め葬儀委員の焼香あり九時より一般會葬者の告別式に移つたが各方面の名士の中に陸軍少壯將校の會葬者の多かつたのは人目を惹いた

寫眞は

一森氏葬儀（後方鈴木總教）



聯合 滿洲寫眞

七年十二月十五日

◎恨みは深し滿洲里監獄

┆武井特派員撮影┆

┆滿洲里國境警備隊が七十日間監禁された滿
洲里監獄



聯合 寫眞 第一號 十二月十五日

◎ベルギー大使一行

Ⅰ「青い鳥」の總稽古見物

文豪モリス・メーテルリンク伯の作歌劇化された「青い鳥」の上演は十五日から松竹少女歌劇團に依つて東劇で上演されるが外交團首席たるベルギー大使ハツソンビエール氏は十五日早朝賜暇歸國の途につく寸暇を割いて嘗てその上演に際し種々の便宜を圖つてゐた丈に十四日夜の總稽古に立會ひ色々有益な注意を與へた

寫眞は

一、正面ベルギー大使（向つて左から）小林、ミルク（小野）ミチル（大塚）末廣、富士チルチル（水ノ江）千川、小倉の諸嬢、第一景第一場幸福の戯にて



聯合 寫眞 第二十四號 七年十二月十六日

◎豪華を誇るデパート

—日本橋白木屋の火事—

都市の中心、日本橋にデパートの玉座を占むる白木屋では十六日午前九時二十三分^の階より出火、四階、五階と猛火になめ盡くされた開店早々として來客の被害はなかつたが二千餘名の男女店員は逃げ場を失ふて忽ち阿鼻叫喚の巷と化し死傷者百數十名に上つた

寫眞は

一、猛火に包まれたデパート白木屋

一、救命袋の活躍

一、(向つて左上から下へ)

^{山形県}泣き叫ぶ店員を慰撫、消防隊の活躍、重傷者^{搬出}、(右上から下へ)重傷者の手當、近衛第二聯隊の出動、街頭の救護班



日本橋白水屋の火事

山田専務泣き叫ぶ店員を慰撫、消防隊活躍、
重傷者、近衛二隊隊の出動、街頭の救護班、



Shanghai, Rango

聯合會の多しき青の世

(2) ネーグ (聯合會)

の聯合會

(向つて左から) ベネス、観、マロス、マトリア

ガ、ノイラート男、アロイジ、オシケール、

ウアレラ (隊長) ドラモンド、サイモン、

松岡、ヤツク

ニキヤ、インシナレコナル (隊長)

葉外サイモン (右) と松の伊イラート男

三、ニキヤの松岡代

表



Philip Rengo

聯盟理事會



聯合 寫眞 第一號 七年十二月十八日

◎秩父宮兩殿下新興美術展お成り

秩父宮、同妃兩殿下には十八日午前十時目下
上野東京府美術館に於て開催中の巴里新興美
術展にお成り際なく御巡覽の上正午近く御歸
還遊ばされた

寫眞は

御巡覽の兩殿下



Shirley Rango
1913

◎女給さん滿洲の兵隊さんへ慰問品

わが生命線な護つて滿洲の荒野に馳驅してゐる皇軍に對し國民は一時盛んに慰問袋其の他金品の寄贈により感謝の意をあらはしてゐたが昨今極寒の候に入るに従ひ漸く中火となつて來た折から十八日日露日の陸軍省玄關口へ銀座パレスと銀座會館の女給さんの一群がトラック一臺に慰問袋をどつきり積み運びこんで來た、これは三百名の女給さんが兵隊さんの勞苦に酬ゆるため自發的に一圓宛を贈金してネルのシャツその他の慰問袋をこしらへたもの、陸軍省では早速戦線へ送ることとなつた

寫眞は

陸軍省へ慰問品を持ち込んだ銀座女給軍



Shimizu Rengo
徳田袋

聯合 寫眞 第一號 七年十二月十九日

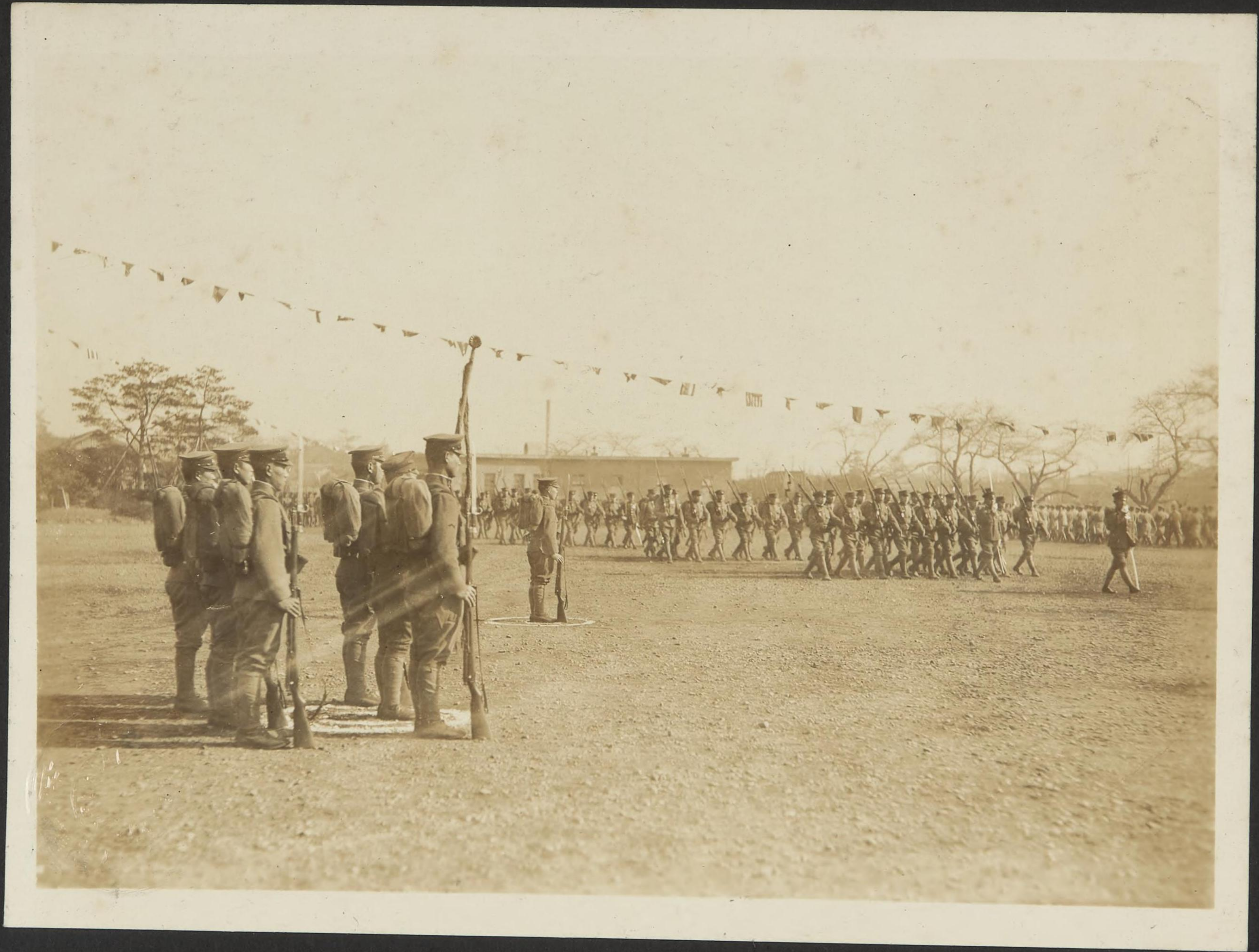
◎華かな軍國の彩り

第一、第三聯隊軍旗祭

春に魁ける軍國の華かな彩どり——麻布の第一、第三兩聯隊では十九日それぞれ歴史も古い第五十八、第五十九回目の軍旗祭を迎へた。モダン兵舎を誇る三聯隊では秩父宮殿下が御氣輕にお見えになる、續く金谷、大庭、菱刈の老將軍連も「若き思出」に頗るの御歳時振りに、輝く聯隊旗奉拜式に續いて模倣戦が銃火を切り、兵隊さんとおきの隠し藝が舞臺の下に笑ひの爆弾を投げる、假裝行列も始まつた。

寫眞は

一、第一聯隊の飾り物



軍旗祭

第一聯隊の飾り物



聯合 スケッチ寫眞

十二月二十日

◎ 雪の妙高へ

一 山の魅力に奪かれて

雪の情報は各地とも全く満点だ、夜陰のスキ
一 列車はさながらの壽司詰め、雪の魅力に奪
かれて山を目指す、銀座ブラの時代ぢやなく
なつた

寫眞は

一 スキーヤーの目標、雪の妙高

十一月十九日 本誌特撮の撮影



St. Lawrence Range

聯合 寫眞 第二號 十二月二十日

◎ダンサー課税反對

一約八百名府廳へ

都下八ダンスホールにジャズと共に踊り暮す
八百名のダンサー、夫れは花やかにも妬をし
き生活であるかに見ゆるが府の假決議に依つ
て入頭年税三十二圓の税を課せらるゝと聞い
て一齊に黄ろい反對の氣勢を擧げた此の一大
不況時に斯くの如き悪税は絶対に許さるべき
でないとして二十日午後一時新宿帝國ホール
高木、平林氏始め都下のダンサー連がワイツ
と府廳へ陳情に押せた

寫眞は

一府廳へ掛寄せたダンサー連



聯合 寫眞 第三號 七年十二月廿一日

◎着初めのファッション服

1 結盟式前日の國民同盟1

愈々廿二日日比谷の公會堂で盛大な結盟式を
舉げる國民同盟の事務所では註文しておいた
黨旗が來たといふので一同見参する、薄茶色
の地に聯隊旗の様に周圍に房をつけ片隅に銀
糸で國民同盟と縫ひ取り眞中に大きく八咫の
鏡を現はしたのが同盟旗、同じ地に青年國民
同盟と縫ひ取り眞中に大きな金鷲を現はした
のが青年同盟旗た、そこへ隻脚の中野正剛代
議士が新調の同盟服を一着して現はれた、上
衣、ズボン共に黒の一色に縞入りといふ一寸
粋きなもので全黨員の正服であると云ふ
寫眞は

一、黒服中野代議士と黨旗



聯合 寫眞 第四號 十二月廿一日

◎畏き御下賜金

一のふ傳達式 一府廳で

畏き邊りから白木屋大火の死傷者に對し御救恤の思召を以て御下賜あらせられた御内帑金傳達式は廿一日午后三時半東京府正廳に永田東京市長、藤沼警視總監、白木屋山田専務、並びに犠牲者の遺族參集の上香阪東京府知事から遺族に對し有難き聖恩並に御救恤金を傳達、一同聖恩の廣大無邊に感泣した

寫眞は

遺族代表者に御救恤金を傳達の香阪東京

府知事



聯合 寫眞 第二號 七年十二月廿二日

◎照宮殿下葉山御成

御風邪も御全快去る廿日御誕辰の御祝を行は
せられた照宮成子内親王殿下には御靜養の爲
廿二日午前十時四十分吳竹寮御出門藤井御養
育掛長、野口事務官、塘御養育掛等御供申上
げ同五十二分東京驛御發車同十一時五十一分
逗子驛御着車葉山御用邸に成らせられた、殿
下には同所に於て御越年明春一月七八日頃御
歸京の趣である

寫眞は

一、葉山お成りの照宮様（於東京驛ホーム謹
寫）



Shimizu Rengo

聯合 寫眞 第三號 七年十二月廿二日

◎感激と哀悼の涙のうち

一白木屋犠牲者告別式

去る十六日の火災に殉職した日本橋白木屋の店員の告別式は廿二日午後二時から芝増上寺に於て千五百名店員の感謝と哀悼の涙の中に盛大に行はれた、山田尊務以下全店員遺族故者等約三千名血書の弔旗を先頭に殉職者の寫眞は何れも同僚が捧げモーニングに喪章、白襟紋付の涙にしめつた行列は延々數町にわたり沿道には市民の垣を造つて送迎弔意を表し各所に感激的なシーンを見せた

寫眞は

一白木屋を出でる行列



聯合 寫眞 第二一四號 十二月廿三日

◎政民國同勢揃ひ

一六十四議會愈々召集

二十四日の第六十四議會召集を前にして二十三日は政、民、國ともに夫々本部に代議士會を開いて議會に臨むに當つての陣容を整へ結束をかためることとなつた

寫眞は

一、議院守衛の勢揃ひ

二、政友議員總會に於ける鈴木總裁の演説

三、民政議員總會に於ける總裁代理町田總務の演説

四、國同最初の議員總會



六十四議會

民政議員總會に於ける
町田總務の
演説

小野 三郎 蔵



聯合 寫眞 第一三三號七年十二月廿六日

◎六十四議會開院式

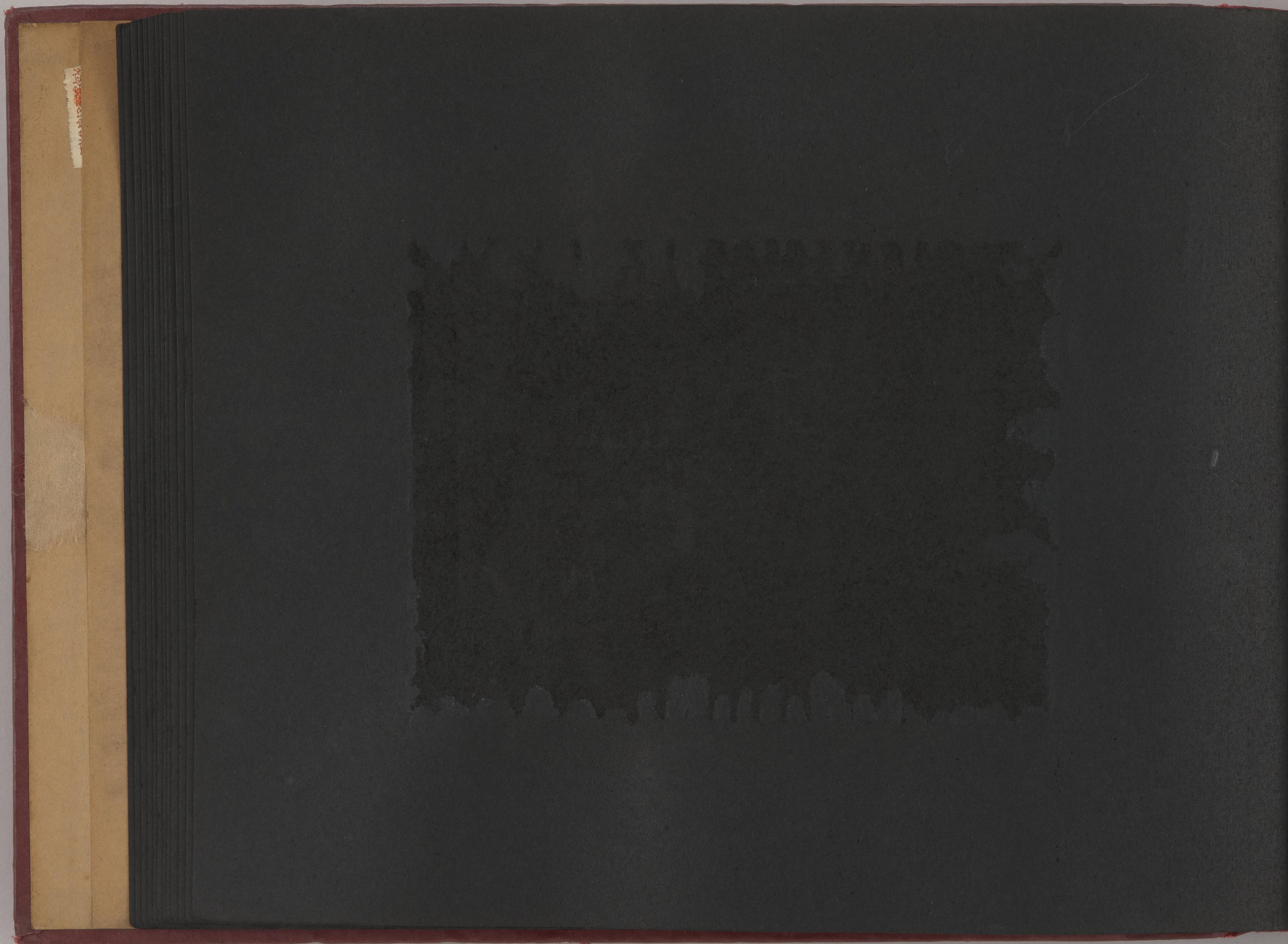
一 天皇陛下親臨勅語を賜ふ

第六十四回通常議會開院式は天皇陛下親臨の下に廿六日午前十一時貴族院に於て舉行。この日天皇陛下には陸軍様式御正装に四頭立の儀裝馬車に乗御貴族院車寄に着御、諸員の最敬禮裡に式場に親臨玉座に着御遊ばされ優渥なる勅語を賜はつた

寫眞は

一 開院式行幸

一 開院式に參列の閣僚（於大臣等）



開院式参列の閣僚

